

# 女子美術大学 × 日水コン

# アート・下水道

## ～豊かな感情が、多様で深い思考を育む～

日水コンは女子美術大学と連携し、下水道展で「アート下水道」にかかわる作品を展示する。関係者の感情や感性に刺激を与え、作品制作に役立てるとともに、プロジェクトの本質を掘り下げるために行われた同社・野村喜一会長と女子美術大学の学生による対談の様相を紹介する。



対談に参加した日水コンとアート下水道プロジェクトメンバー

日水コンは6月21日、女子美術大学相模原キャンパス内にあるアトリエで、同大学(洋画専攻・日本画専攻・ヴィジュアルデザイン専攻)の学生(以下、アート下水道プロジェクトメンバー)と同社・野村喜一会長による対談を実施した。登壇者は、野村会長のほか、同大学芸術学部美術学科洋画専攻の大森悟教授、同大学芸術学部デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻の澁谷克彦教授。アート下水道プロジェクトは、日水コンの「下水道業界に風穴を開けたい」との野望から生まれたもの。複雑化する社会の中で課題を解決するアイデアを

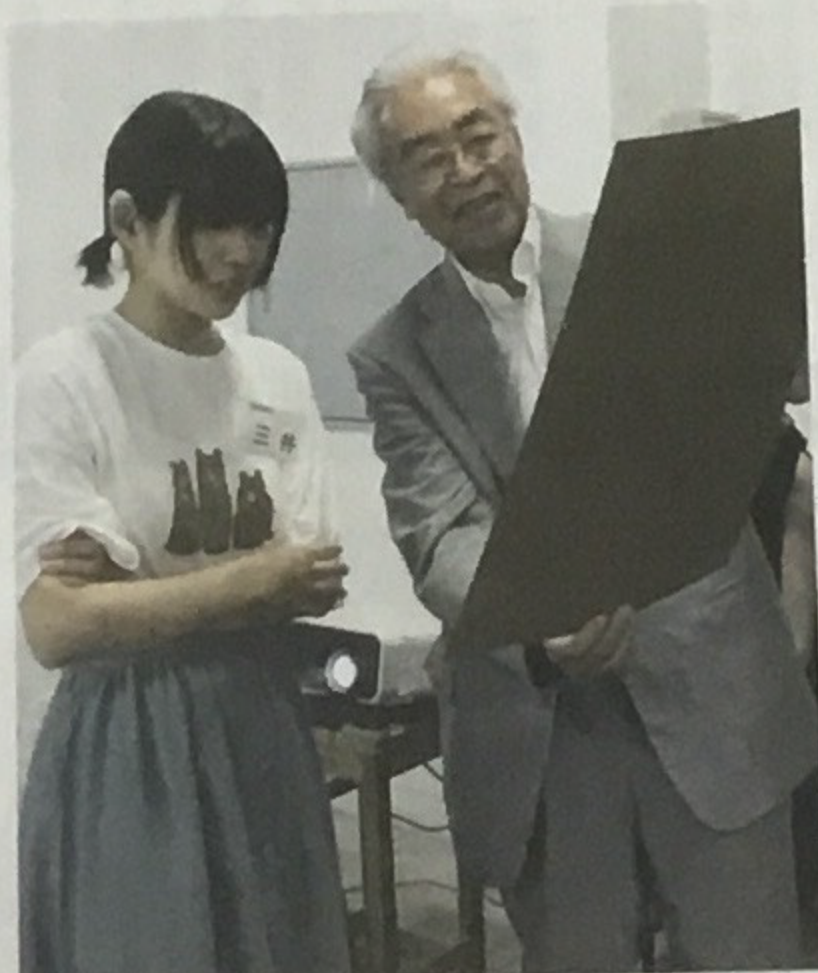
日水コンはダ・ヴィンチになりたい!?

感情!?  
思考!?

とから生み出すコンサルタント、例えるのであればレネサンス期に活躍した画家であるレオナルド・ダ・ヴィンチのような、複数の分野に目を向け、業績を残すことができる社員が社内に増えていけば、この先の社会の課題を見つけてそれを解決できるのではないかと——という思いからスタートした。そこで日水コンは、今年1月から同大学の学生13人とともに、「アート下水道プロジェクト」を始動。同プロジェクトでは、8月6～9日で開催される下水道展'19横浜の日水コンコースで、「循環」をテーマにした作品を展示する。作品は絵画のみならず、映像やデザイン、ロゴマーク、衣装など多岐にわたる。

今回、同大学の学生と対談することでプロジェクトのヒントにつながるのではという日水コンの思いと学生たちからの賛成の声を受け、対談が実現した。対談では、アート下水道プロジェクトメンバーと野村会長が、①会長メッセージ「感情と思考」②自由と不自由③理性と欲求——の3テーマについて議論を交わした。学生たちは、それぞれのテーマについて自身の作品制作の過程や思いを交えて、持論を展開。

対談を終えて澁谷教授は「一般的にきれいなイメージのない下水道と美術という美しいイメージの組み合わせが非常に面白い。これは双方にいい影響を与えるワクワクする取組み。いろいろな方に知っていただいで世の中に化学反応を与えていければ」、大森教授は「下水道をはじめ、社会インフラに対する理解・当事者意識が足りないとこのプロジェクトを通して感じた。今回は二つのものを対比する対談テーマだったが、それらは別々ではなく行ったり来たりするもので、水循環のように循環する関係性では」とそれぞれコメントした。



学生の作品を興味深く見つめる野村会長(右)



白熱した議論が繰り広げられた

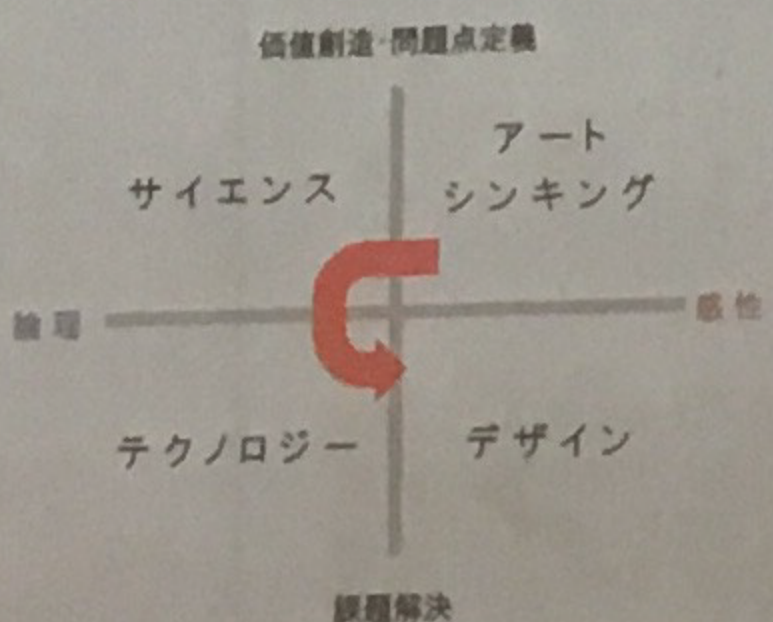
## ART下水道ってなんだ!?

戦前から戦後にかけての日本は、「つくる」ことを中心とした時代だった。諸外国に追いつくためにも、効率的で即効性のある「成長」に向かって、道を切り開いてきたといえる。下水道事業をけん引してきた諸先輩方の努力によって、下水道インフラは成熟化を迎えた。

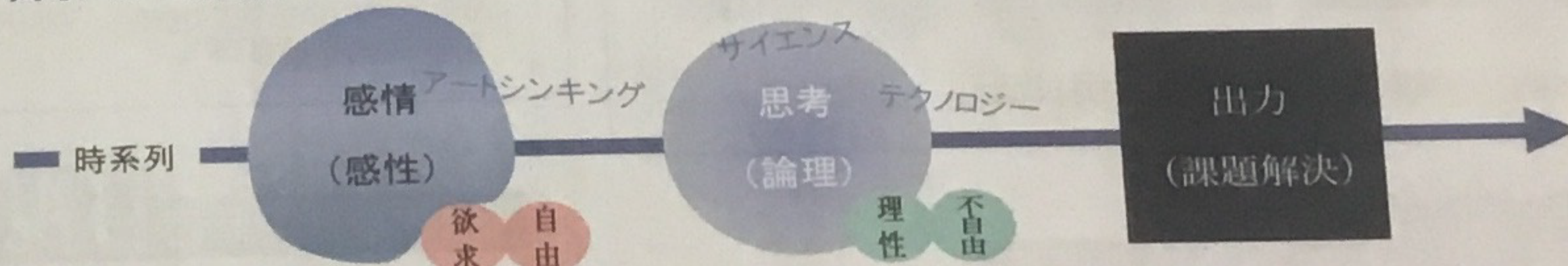
しかし、昨今、ニーズの多様化や複雑化に伴い、人々が理想とする世界は玉石色に変化している。日水コンが住民から求められているものは何なのだろうか。そして、マニュアルや指針を整備してきた諸先輩方の思いを受け止め、次の時代(世代)に向けてさらなる飛躍を目指すには、何が必要なのだろうか。同社が出した答えが「アートシンキング<sup>※1</sup>」である。また、「アートシンキング」のベースとは、多様な「感情」と向き合うことである、という独自の解釈を取り入れ、「豊かな感情が、多様で深い思考を育む」という理念を生み出した。

同社はこの「アートシンキング」の概念を下水道に取り入れることを「アート下水道」とし、女子美術大学との協働を開始した。そして、「感情」や「感性」を起点として芸術作品を創造する美大生(「感情」側)と下水道を生業とする技術者(「思考」側)、対極に位置する両者が意見をぶつけ合い、「アートシンキング」を磨くことを今回の目的としている。

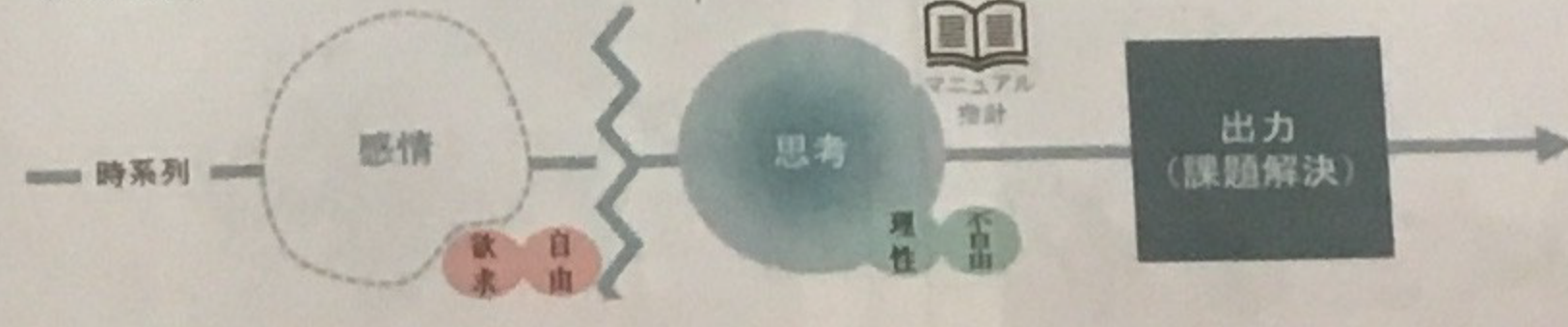
※1: アートシンキングと創造のサイクル  
創造のサイクルは、「(1):アートシンキング」→「(2):サイエンス」→「(3):テクノロジー」→「(4):デザイン」の4つのステップから成っている。具体的な例を挙げれば、「(1):空を飛ぶことを夢見る」に始まり、「(2):ニュートンの「万有引力の法則」発見」の後、「(3):ライオンによる飛行機の開発」を経て、「(4):現在の様な快適な空の旅」のサービス提供へとつながる。さらに「(1):ドラえもんの世界のタケコプター」に戻ることでもう一段先のステップに進むイメージである。つまり、アートシンキングとは、既成概念にとらわれず、想像力をもって感性豊かに考えることといえる。



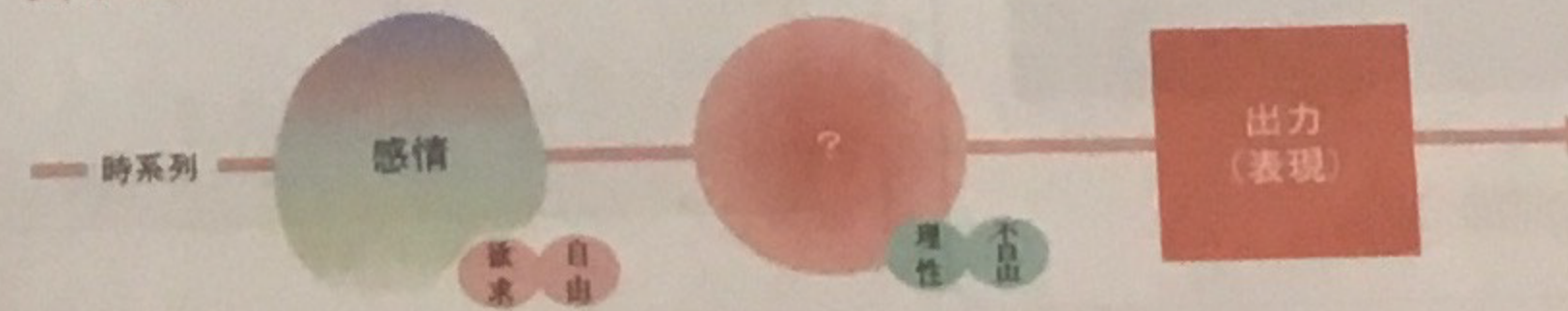
## 日水コンの目指す理想(新しい、未来の下水道を作るために目指すべき姿!)



## 今の日水コン(もの作りに特化した時代に貢献してきた姿)



## 女子美(アートに関わる大学生の姿?)



協働を通じて日水コンの理想を目指す!